

vol.
111
2025
Autumn

Feature
特集

腫瘍内科



contents

Feature

患者さん一人ひとりに合う治療を「腫瘍内科」 | もしもしINFORMATION | 地域のお知らせ便

地域の窓口をめざす「脳神経内科」 | なるほど! おくすりエトセトラ | がっちり連携 連携医療機関のご紹介



NTT東日本 関東病院

がん薬物療法を検討するすべての人を 生き方や価値観に合った治療につなぐ

がん薬物療法の進化は目覚ましく、患者さんの福音となる新しい薬が次々と登場しています。患者さんの病状や人生観、価値観を踏まえ、一人ひとりを最善の治療につなぐ専門家集団、腫瘍内科をご紹介します。



Kuramachi Hidekazu
倉持 英和

腫瘍内科 部長

Profile

1994年筑波大学医学群卒業。東京女子医科大学病院、筑波胃腸病院、University of Southern California、東京女子医科大学八千代医療センターを経て当院。臓器横断的に腫瘍を診る中でも、消化器がんを中心とした化学療法と緩和ケアを得意とする。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。

Mizukami Takuro
水上 拓郎

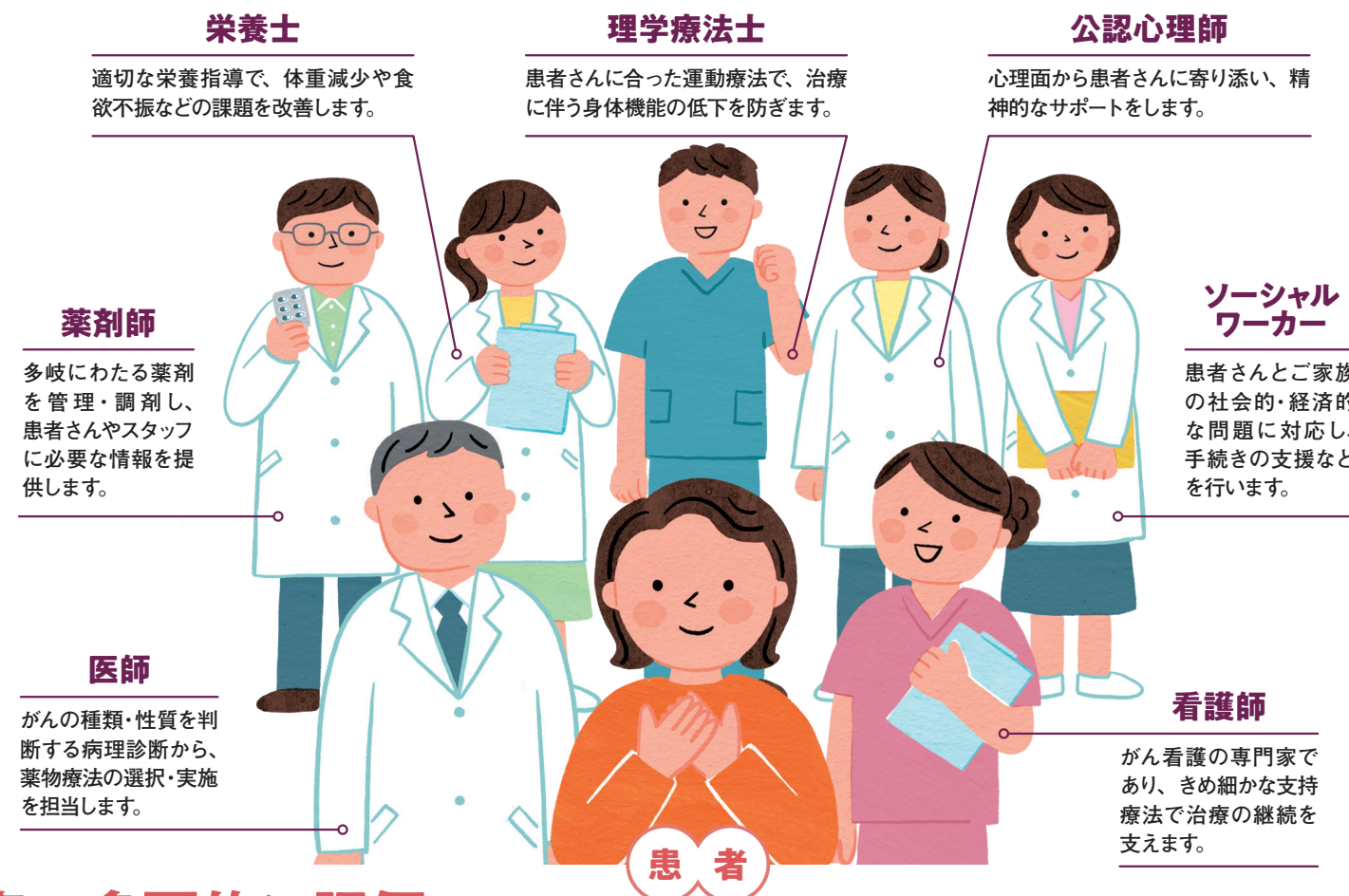
腫瘍内科 医長

Profile

2010年浜松医科大学医学部卒業。聖マリアンナ医科大学病院を経て当院。特定の臓器を診る診療から幅を広げ、現在は泌尿器、乳腺、遺伝性腫瘍、神経内分泌腫瘍などを幅広く診療。倉持部長とともに臓器横断的ながん医療の先頭に立つ。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。

多職種の専門的視点 個別化された包括

日本における従来のがん治療は、例えば消化器なら消化器内科・外科、肺なら呼吸器内科・外科というように、がんが発見された臓器によって担当する診療科が決まっていた。しかし、新薬が次々と出現して薬物療法が飛躍的な進歩を遂げたことで、薬剤の特性をきめ細かく把握し、患者さんの状態や人生観に即した薬剤の選択と副作用の管理ができる専門家



点で多面的に評価 的ながん医療を実現

すべてのがん種を対象に
原発不明がんにも対応

私たちの診療対象は、悪性腫瘍と診断され、抗がん薬治療による治療を検討するすべての患者さんです。診療科を越えた臓器横断的な診断・治療を行うため、消化器がん、泌尿器がんなどがん種は問いません。原発不明がんや、悪性軟部腫瘍などにも対応します。

多職種による多彩な視点で
行き届いた治療・ケアを提供

がんの薬物療法を行う際には、

副作用や、治療が続くにつれて生じる身体的・精神的な苦痛への配慮が欠かせません。そこで当科では、医師だけでなく看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士といった各領域の専門家と連携し、1人の患者さんを多角的な視点で診ることを徹底しています。患者さんの病状や生活状況、価値観などを多角的に評価することにより、個別最適化した治療計画を立て、包括的・全人的なケアによる「Quality of Survival」の提供をめざします。

Q.

腫瘍内科ってどんな診療科？

A. 臓器横断的に腫瘍を診断。多職種連携でがん医療を行う診療科です

腫瘍内科は、がん治療の3本柱である「手術療法」「放射線療法」「薬物療法」のうち、抗がん薬を使った治療を検討している患者さんを対象としています。診療科を越えてあらゆるがん種を診るのが特徴で、医師や看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士などが多角的な視点で個別最適な診断・治療、緩和ケア、支持療法を追求。患者さんが「自分に合ったがん医療」を見失わないよう並走します。

さらに！ 当院の 腫瘍内科の4つの特徴

特徴

1 所属する3名の医師が 高い専門性をもって診療

腫瘍内科には、現在3名の医師が所属。全員が日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医であるとともに、呼吸器、消化器などの専門分野を持っています。抗がん薬に関することのみならず、さまざまな知識と技術を駆使して、その方の人生をより良いものにするための診療に取り組んでいます。



特徴

2 早期から緩和ケアが介入し、 生活の質を維持

がんの治療には、さまざまな肉体的・精神的症状が伴います。これらを軽減し、心豊かに生活を送りながら治療を継続していくための取り組みが早期緩和ケアです。当院では、悪性腫瘍であると診断を受けた時点から必要に応じて緩和ケアが介入し、患者さんおよびそのご家族の意思決定や生活の質の向上を支援します。



特徴

3 患者のつらさに寄り添う 緊密なコミュニケーション

市中病院ならではのフットワークの軽さを活かし、患者さんのつらさに向き合う診療を心がけています。患者さんが自分の病気や治療法について正確に理解したうえで治療を選択できるよう、丁寧なコミュニケーションで情報を提供します。特に初対面の患者さんとは時間をかけて対話をしていますので、安心して受診してください。



特徴

4 併存疾患がある患者にも 適切ながん治療が可能

当院は総合病院であり、がん以外の併存疾患を抱える患者さんも受け入れが可能です。保険診療できるすべての治療を提供できる体制を整えています。2023年6月からは希少な神経内分泌腫瘍に対する放射線内用療法（PRRT）も提供できるようになりました。がんセンターなど他院との連携も行っており、幅広い治療の選択が可能です。



メディカルオンコロジーセンター(がん薬物療法センター)

臓器・診療科・職種が横断的に専門性を持って集まり、
がん薬物療法を受ける患者さんへ
包括的で全人的な治療・ケアの実践を行っている

がん医療のための入口

メディカルオンコロジーセンターは、「腫瘍内科外来」「がんゲノム医療外来」「遺伝性腫瘍外来」から成り、化学療法センターとも連携を図っています。がん薬物療法を受ける患者さんを受け入れて検査をした後、腫瘍内科医、がんゲノム医療を専門とする医師などが結果を多面的に評価し、最適な医療につなぎます。他の病院から転院してがん薬物療法を希望する場合や、遺伝性腫瘍が当院の他の診療科で見つかった場合、がんゲノム検査を希望する場合も、まずは当センターを受診していただきます。

治療・緩和ケア

医師による多様な
治療や緩和ケア

患者支援

主に看護師らによる支援、
がん看護外来等

薬剤師外来

主にがん薬物療法認定
薬剤師・がん専門薬剤師
による薬剤指導

支持療法外来

管理栄養士による
食事支援

(通常の) 化学療法

多職種連携で日常生活を支え、
副作用をケア

化学療法センターには、開放感がありつつもプライバシーに配慮した20のブースを設置。テレビや読書灯があり、リラックスして治療できる環境です。医師、薬剤師、管理栄養士などが連携して治療継続をサポートします。

がんゲノム医療

がん細胞の遺伝子変化を調べ
治療法を決定

がん細胞の遺伝子変化は、一人ひとり異なります。がんゲノム医療では、複数のがん遺伝子を網羅的に調べる「がん遺伝子パネル検査」を保険診療で行った後、それぞれの遺伝子情報に応じた治療を行います。

Message
倉持先生
メッセージ

地域密着型の病院であるため、がん専門病院や大学病院に比べて患者さんの数が少なく、一人ひとりとゆっくり向き合えるのが当院の強みです。合併症をお持ちの方、高齢の方なども、ぜひご相談ください。



Message
水上先生
メッセージ

患者さんの人生観や価値観に沿った選択が求められることもある腫瘍内科では、患者さんの身体的・精神的苦痛を包括的かつ多面的に診ることが重要です。多職種で連携し、トータルとしてのがん医療を充実させてまいります。



脳血管の病気が疑われる時の「地域の窓口」 フラットな視点で最善の治療を提案

一次脳卒中センターコア施設として脳卒中の診療を行うほか、脳血管や脳神経の病気が疑われるときの窓口としても機能する脳神経内科。外科・内科のどちらかに偏ることなく治療法を提示し、納得のいく選択ができるようサポートしています。

脳神経内科

神谷 雄己

2000年昭和大学(現昭和医科大学)医学部卒業。昭和大学(現昭和医科大学)病院、関東労災病院、虎の門病院を経て当院へ。プライベートではアイスホッケー、キャンプ、盆栽と多様な趣味を楽しむ。上達度合いに納得がいけば、近々もう1つの趣味がラインナップに加わる見込み。日本脳卒中学会脳卒中専門医、日本神経学会神経内科専門医、日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医。

Kamiya Yuki



救急と外来の両面から、脳血管・脳神経疾患に対応

診断が難しい症例に 広く門戸を開く

脳神経内科では、脳血管障害や認知症などが疑われる患者さんの外来診療、および脳卒中の救急診療、脳血管内治療（カテーテル治療）を担当しています。

はじめに、外来での診療についてご紹介しましょう。当科が扱う病気の種類と原因は幅広く、地域のかかりつけ医として幅広い症状に対応する街のクリニックでは診断が難しいことも少なくありません。外来はそうした場合の相談窓口として、

広く門戸を開いています。「脳血管に異常がありそうだけど、どの診療科に相談すればいいかわからない」「どんな治療が適切なのか、判断に迷う」といったケースは、迷わず当科にご紹介ください。

悔いのない決断ができるよう 考え得る治療法をすべて提示

当科の診療の特徴は、患者さんやそのご家族と十分に対話し、納得できる治療と一緒に模索するスタイルであることです。診療科として実績が豊富な分野や、医師の得意な治療に偏ることなく、その

方にとって何が最善かを考えます。

例えば、人間ドックなどで未破裂脳動脈瘤が見つかった場合、患者さんの多くは動脈瘤が破裂してくも膜下出血を引き起こす将来的なリスクを考え、「手術しなきゃダメかな」と思うかもしれません。しかし、動脈瘤は必ずしも破裂するとは限らず、大きさや形状、部位、さらには患者さんの年齢などを総合的に勘案した上で治療を検討する必要があります。定期的な受診をして経過観察をしていれば、大事に至らないこともあるのです。外科的手術よりも低侵襲な

カテーテル治療で効果が見込める場合なども同様に、「外科手術をしない」「治療せず様子を見る」という選択肢も含めて考えられる方法をすべて提示し、患者さんが自分の体に対する決断に自信を持てるようサポートします。

チーム医療でスピードを上げ 緊急性の高い患者に対応

救急対応において、最も重要なのはスピードと正確性の両立です。そのためには、治療に関わる多職種が一致団結して無駄のない動きを徹底しなければなりません。

そこで、私が着任後はチーム力をより高めることに重点を置き、診療科や職種の枠を取り払った月に1度の定例会議を継続しています。その結果、脳梗塞超急性期の受け入れから点滴やカテーテル治療による再開通療法を行うまでのスピードが劇的に上がりました。当院のカテーテル治療は脳神経内科が行うため、外科の先生方は重要度の高い手術に集中できるのもメリットです。

今後も、技術の進歩とともに複雑化する治療を広く学んで整理し、患者さんの診断・治療に還元してまいります。生活スタイルや価値観に合った治療がしたい患者さん、治療法の判断に迷っている患者さんがいらしたら、ぜひご相談・ご紹介ください。

column

「診療看護師」

医師の診断・治療を助ける大切なパートナー

診療看護師は、一定レベルの診療を自律的に行えるだけの知識と技術を持った看護師のこと。医師の指示の下、患者さんの検査や身体診察、手術の補助などを行います。看護師の観点と、医師に近い医療者としての医学的観点から患者さんに介入できる稀有な存在で、チーム医療には欠かせません。当科でも村井診療看護師が活躍してくれています。



Kamiya Yuki

かかりつけの患者さんに脳血管の病気が疑われる場合、迷わず当科にご紹介ください。専門的な検査・診断の上、「治療せず様子を見る」選択も含めたすべての可能性を患者さんに提示し、納得できる治療を選んでいただけるようにいたします。



待ち時間にできる!

『座って簡単体操』で健康キープ!

病院の待ち時間、「何もせずじっと待つだけ」で終わっていませんか？ 実はその時間を少し活用するだけで、体の調子を整えたり、不調の予防につなげたりすることができます。特に、長時間同じ姿勢で座っていると、足の血流が滞りやすくなり、むくみやだるさ、エコノミー症候群のリスクも高まります。また、スマホやテレビを見続ける姿勢が続くと、首や肩の凝り、猫背や腰痛の原因にも。そんな時こそ、「座って簡単体操」がお勧めです。動きはとてもシンプルですが、筋肉を優しく刺激し、血流を促し、姿勢改善や呼吸の深まりにもつながります。

「動かない時間」が続くと体はどうなる？

- 血液循環が悪くなり、足のむくみや冷えを引き起こす
- 姿勢が崩れ、背中や腰に負担がかかる
- 呼吸が浅くなり、自律神経のバランスが乱れやすくなる

こまめな運動を続けると…

- ふくらはぎや足首を動かすことで、**血液の循環が促進**される
- 肩や胸を動かすことで、**呼吸が深まり、リラックス効果**も
- 正しい姿勢を意識することで、**全身の疲れにくさが改善**

こんな方に
おすすめ!



- ✓ 病院の待ち時間に座っていると疲れてしまう方
- ✓ 足のむくみや冷えを感じやすい方
- ✓ 姿勢の悪さが気になる方
- ✓ 運動不足を感じているが、なかなか始められない方

LET'S TRY!!

① 足首回し

血流改善・エコノミー症候群予防

左右 各10回



椅子に浅く腰掛け片足を少し浮かせて足首を大きくゆっくり回す

③ 肩回し

肩凝り・姿勢改善

5回(5周)

肩をすくめてから後ろに大きく回す



⑤ 胸開きストレッチ

猫背・呼吸機能の改善

3回

両手を背中側で組んで、胸を張りながら深呼吸



② 踵・つま先の上下運動

ふくらはぎポンプ運動

交互に10回



座ったまま、踵だけ、つま先だけを交互に上げ下げ

④ 背伸びストレッチ

姿勢改善・呼吸を深く

3回 / 3秒

両手を頭の上で組み大きく伸びをして3秒キープ



運動の詳細は
二次元コードを
読み取り、
動画をご参照
ください!



なるほど！ おくすりエトセトラ

お薬に関するいろんな疑問。
「なるほど!」と、知ってうれしい健康まめ知識を
薬剤部がお届けします!

私が答えます!



薬剤部／土屋量子

Q 「抗がん剤治療をすると気持ち悪くなりますか？」

A 抗がん剤の種類によって異なります。
吐き気がほとんど起こらない場合もあります。
吐き気が起こりやすい抗がん剤については、
吐き気止めを使用し予防します。

抗がん剤による吐き気は、抗がん剤が脳内の嘔吐中枢に作用したり、消化管の粘膜を刺激したりすることで起こると考えられています。抗がん剤ごとに吐き気の起こりやすさは異なるため、それぞれの起こりやすさに合わせて予防策を考えています。最近では、吐き気止めの進歩により不快な吐き気がコントロールできるようになってきています。吐き気は起こってから対

処するより、起こる前に予防することで症状を軽くできるため、吐き気が起こりやすい抗がん剤を使用する前には、吐き気止めを予防的に使用します。吐き気止めには飲み薬、注射薬、坐薬などさまざまな種類があります。症状が強い、または長く続く場合は、吐き気止めを追加して対処することができますので、医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

地域の お知らせ便

NTT 東日本 関東病院のまわりの地域医療や
健康に関連する情報をお届けします

「しながわ健康プラン21」 (第二次)

品川区では、「しながわ健康プラン21」を策定し区民の健康づくりを推進してきました。

今回、健康意識や新型コロナを経た社会情勢の変化も考慮し、実効性のあるプランへと令和7年3月「しながわ健康プラン21(第二次)」を策定し、「誰一人取り残さない健康づくり」の実現をめざし取り組んでいます。



詳細はこちらをご確認ください!



〈基本理念〉

生涯を通じた健康づくりの推進

4つの基本目標

1 区民の主体的な健康づくりへの支援

2 地域での健康づくりの推進

3 対象を明確にした健康づくりへの支援

4 生涯の健康を支える食育の推進

16の個別目標

- 健康意識を高め、主体的な健康管理を行う
- 体を動かす習慣をつける
- 休養・こころの健康に配慮する
- 喫煙に対する知識を高める
- 過度な飲酒はしない
- 歯と口の健康を保つ
- 人や地域とのつながりを持つ
- 自然と健康になれる環境づくり
- 多様な主体と取り組む健康づくり
- 親と子の健康づくりを進める
- 女性の特性をふまえた健康支援
- 働き盛りの健康課題を解消する
- 高齢者の健康づくりを進める
- 食を通じた健康づくりの推進
- 次世代につなげる多様な食育の推進
- デジタル化に対応した食育の推進

健康増進計画

計画推進

表紙



※「しながわ健康プラン21(第二次)」の詳細は、品川区ホームページをご覧ください。

がっちり連携

連携医療機関のご紹介

NTT東日本 関東病院では、地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院とともに地域の医療を支える「医療連携協力医療機関」の皆さんをご紹介します。

小山中央診療所 内科・消化器内科

☎ 03-6426-1173

当院は小さな診療所ですが、その分小回りは利きます。持病の診療はもちろん、「何科にかかったらいいかわからない」、「少し気になる症状がある」などの時もお気軽にご相談いただけます。もし専門的な検査や治療が必要と判断した場合はNTT東日本 関東病院と連携し、その方の生活や病状に合った医療と一緒に考えます。皆さんの健康の応援団、そして地域医療の一員としてお役に立てるよう日々診療しています。



笹川 綾子(ささがわ あやこ)

2000年 昭和大学医学部卒業
2000年 昭和大学医学部第二内科入局
2004年 東京労災病院
2004年 昭和大学医学部大学院卒業
2007年 昭和大学附属烏山病院内科助教
2009年 昭和大学病院消化器内科助教
2012年 小山中央診療所院長

Doctor profile



【住所】〒142-0062
東京都品川区小山3-15-1
パークシティ武蔵小山ザモール2階2L
【電話】03-6426-1173
【診療科】内科・消化器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～13:00	○	○	—	○	○	○	—
15:30～18:30	○	○	—	●	○	—	—

●訪問診療のみ
※祝日は休診

医療法人社団 FU-WA 目黒みらい内科クリニック 内科・糖尿病内科・呼吸器内科

☎ 050-3146-4574

当院は目黒駅近にあり、「医療を通じ皆さまが幸せになるお手伝いをする」ことを理念にスタッフ一同診療しております。からだの調子が悪い方、糖尿病などの生活習慣病をお持ちの方やぜんそく、肺気腫などでお困りの方(自宅で酸素を吸っている場合、当院まで通院できる方)はお気軽にご連絡ください。NTT東日本 関東病院の近くでもあり、積極的なご紹介ならびにしっかりとした連携をしています。



太田 啓介(おた けいすけ)

2000年 浜松医科大学卒業
2000年 日本赤十字社医療センター内科
2002年 日本赤十字社医療センター呼吸器内科
2005年 東京大学医学部附属病院糖尿病・代謝内科
2011年 新日鉄住金株式会社本社産業医
2013年 松原アーバンクリニック
2019年 目黒みらい内科クリニック院長

Doctor profile



【住所】〒141-0021
東京都品川区上大崎2-13-26
メイプルトップビル3F
【電話】050-3146-4574
【診療科】内科・糖尿病内科・呼吸器内科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	—	○	○	○	—
15:00～18:00	○	○	—	○	○	—	—

※木曜午前及び毎月第1土曜は医師2名体制
※祝日は休診



健康な未来のために

自分と家族に

今できることを

NTT東日本 関東病院 人間ドックのご案内

当院の人間ドックでは疾病の予防・早期発見・早期治療による人々の健康の維持・増進に努めることを理念とし、皆様のニーズに合った複数の人間ドックコースをご用意しております。お気軽にお問合せください。

1日コース

- ▶ 基本コース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 脳ドックコース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 大腸がんコース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 動脈硬化予防コース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ 膵臓・胆のう・胆管がんコース
男性¥85,250 女性¥94,600
- ▶ マイクロアレイ検査コース
男性¥105,600 女性¥114,950

(税込価格)

2日コース

- ▶ 全大腸内視鏡コース
男性¥138,050 女性¥163,900
- ▶ 膵臓・胆のう・胆管がん
MRCP検査コース
男性¥138,050 女性¥163,900

(税込価格)

過去にNTT東日本 関東病院で個人申込で人間ドックを受診された方は通常料金から1割引きのリピーター価格で受診いただけます。さまざまなオプション検査のご用意がございます。ホームページよりご確認ください。



NTT東日本 関東病院 健康管理棟2F・人間ドック受付
【TEL】03(3448)6275【受付時間】平日10:00~16:30
【URL】<https://www.nmct.ntt-east.co.jp/examination/>

※料金・検査項目・オプションなど
ホームページで詳しくご案内しております！



Vol.111：秋号

ホームページは
こちら



NTT東日本 関東病院 広報誌 2025年9月19日発行 通巻111号

発行／NTT東日本 関東病院

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22

TEL: 03-3448-6111(代表)

URL: <https://www.nmct.ntt-east.co.jp/>



K25-01704 [2509-2609]